

トヨタ車体、ダカールラリー2015 市販車部門連覇に向けて参戦

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市 取締役社長：岩瀬隆広）のラリーチームである Team Land Cruiser TOYOTA AUTO BODY（チームランドクルーザー・トヨタオートボデー 以下、TLC）は、2015年1月3日からアルゼンチン・ボリビア・チリを舞台に15日間で約9,000kmを走破するダカールラリー2015の市販車部門に参戦します。

参戦車両は、当社が開発・生産を担うランドクルーザー200をベースに、南米大会史上初となるメカニックによるサポートが禁止されるマラソンステージや、年々ハイスピード化するラリーに耐えうるよう幾度もテストを重ね、鍛え上げたダカールラリー仕様車2台で参戦します。

トヨタ車体は、1995年のダカールラリー参戦当初から市販車部門への参戦にこだわり、世界中のお客様にランドクルーザー200の圧倒的な信頼性の高さを示すとともに、世界で最も過酷といわれる砂漠の難コースを走破することで得られたデータを市販車の開発にフィードバックすることで、“もっといいランドクルーザー200づくり”につなげています。

使用する燃料は、前回に引き続き今大会も、スポンサー各社や近隣小中学校をはじめとする地域の方々、ならびに従業員の協力を得て集めた廃食油から精製したBDF（バイオディーゼルの燃料）を100%用いる（約8,000L）ことで、環境に配慮したサステナブルな仕組みの広がりにも貢献します。

また、今大会はさらなる飛躍をはかるため、新チーム監督の体制の下、臨みます。1号車は前回優勝コンビを継続し、三橋淳（ドライバー）/ゲネック・アラン（ナビゲーター）組、2号車にもジボン・ニコラ（ドライバー）/三浦昂（ナビゲーター（従業員））組を継続起用し、連覇を目指します。トヨタ車体は監督やナビゲーターをはじめ、チームの運営スタッフを従業員から構成した手づくりチームでの参戦を大切にしており、ダカールラリーを通じて世界に通用する人材育成にも挑戦しています。

トヨタ車体は、2015年に会社創立70周年を迎えます。この記念すべき年の初めに世界中のお客様に感動をお届けできるよう全力で挑みます。

【チーム名】

Team Land Cruiser TOYOTA AUTO BODY：チームランドクルーザー・トヨタオートボデー（通称/TLC）

【ダカール2015参戦車両】

トヨタランドクルーザー200 ダカールラリー仕様車

ダカールラリー2015参戦車両は、砂丘路面で他車を凌駕する走破性・スピードの向上を主眼に、総走行距離5,000km以上におよぶ、アフリカモロッコでのプライベートテストやモロッコラリー2014参戦による実戦テストで鍛え上げた車両です。なお、2015年大会は1号車三橋/ゲネック組がゼッケンNo.343、2号車ジボン/三浦組がゼッケンNo.345でのエントリーとなります。

(2015 年大会参戦車両写真:写真は 1 号車三橋/ゲネック組)



(ランドクルーザー200 ダカールラリー仕様 車両スペック)

項目	スペック内容
ベース車両型式	VDJ200
エンジン型式	1VD-FTV 型
総排気量	4,461cc
全長 / 全幅 / 全高	4,950mm / 1,910mm / 1,970mm
最高出力 / 回転数	180kW(245ps) / 3,800r. p. m.
最大トルク / 回転数	726N・m(74kgf・m) / 1,200~3,600r. p. m.
ステアリング	ラック & ピニオン式
サスペンション	前/ ダブルウィッシュボーン式独立懸架コイルスプリング
	後/ トレーリングリンク車軸式コイルスプリング
ショックアブソーバー	リザーバータンク付単筒ガス式
ブレーキ	前後ベンチレーテッドディスク
トランスミッション	5 速マニュアルトランスミッション
タイヤサイズ	285 / 70R17
ホイール	マグネシウム鍛造 17 インチ×7.5J
駆動方式	4 輪駆動(フルタイム 4WD)

【参戦カテゴリー】

市販車部門ディーゼルクラス (以下参戦カテゴリー概要)

参戦車	部門	クラス
オート(自動車)	市販車	ディーゼル
		ガソリン
	改造車	

...TLC 参戦カテゴリー

※TLC はガソリンクラスを含めた市販車部門での連覇を目指します。

参考 1: その他にバイク・トラックも参戦

参考 2: 前大会ではオート(自動車)147 台 (内、市販車部門 13 台、ディーゼルクラス 12 台) が出場

【ダカール 2015 参戦体制】

		氏名	年齢	メンバー紹介	
チーム代表		林 正敏	56歳	トヨタ車体(株) 執行役員	2012年チーム代表に就任。 チームの和をモットーに、メンバーの 能力を最大限に引き出す
チーム監督		角谷 裕司	41歳	トヨタ車体(株) 広報室	新たにチーム監督に就任。 ラリー未経験ながら、ハンドボール全日本代表 選手で培った世界との戦い方を活かし、 チームを率いる
1号車	ドライバー	三橋 淳	44歳	TLC契約選手	2006年度よりTLCに加入。 TLCで過去4度の市販車部門優勝に 導いたエースドライバー
	ナビゲーター	ケネック・アラン	60歳	TLC契約選手	2010年度よりTLCに加入。ダカールラリー参戦歴 27年の経験を活かした的確な ナビゲーションで三橋の走りを支える
2号車	ドライバー	ジボン・ニコラ	33歳	TLC契約選手	2008年度よりTLCに加入。一度はチームを 退くも2012年度から復帰。加入以来 コンビを組む三浦と阿吽の呼吸で2度目の 優勝を目指す
	ナビゲーター	三浦 昂	31歳	トヨタ車体(株)	2006年よりTLCに従業員ナビゲーター として加入。2010年大会で引退後、 2012年度からジボンとともに復帰
メカニック		内 裕二	27歳	トヨタ自動車(株) (トヨタ車体に出向中)	チーム最年少の27歳。今回初参戦。 トヨタ自動車(株)での車両開発業務での 経験を活かし、メカニックとしてチームをサポート
		富田 貴夫	36歳	福岡トヨタ自動車(株)	2013年度よりTLCに加入。ダカールラリーは 2度目の参戦。ディーラーでの車両整備経験を 活かした確実でスピーディーな整備で チームをサポート
		前田 勝哉	28歳	福岡トヨタ自動車(株)	今年度よりTLCに加入。今回初参戦。 富田同様、ディーラーでの車両整備経験を 活かした丁寧な整備力でチームをサポート

他、フランス人スタッフを含め、計 18 名体制で参戦

【ダカールラリー2015 大会概要】

1979 年より開催されているダカールラリーは、2015 年大会で 37 回目の大会となります。世界一過酷と言われるクロスカントリーラリーとして世界中から注目を集めています。2009 年大会より舞台をアフリカ大陸から南米大陸に移し、2015 年大会はアルゼンチン・ボリビア・チリの 3 ヶ国での開催となります。(主催：A.S.O *1)

2015 年 1 月 3 日にアルゼンチン ブエノスアイレスでスタートセレモニーを行い、本格的な競技は 1 月 4 日からのスタートとなります。途中、チリでの中間休息日をはさみ、1 月 17 日にブエノスアイレスにゴールします。ステージは 3 カ国をまたぐ全 13 ステージにおよび、総走行距離は 9,111 km (内競技区間は 4,533 km) におよびます。前大会よりも競技区間が約 1,000 km 短縮されるも、オート(自動車)カテゴリーでは初となる標高 4,000m 以上に設定されるボリビアのステージや、南米大会初となるメカニックのサポート、整備が禁止されるマラソンステージ(*2)が設定されるなど、新しい要素も盛り込まれた非常に難しいコース設定となっています。また、年々ハイスピード化するラリーの傾向に合わせ、2015 年大会もライバルとの肉薄した厳しいラリー展開となることが予想されます。

*1 A.S.O: Amaury Sports Organisation / アモリー スポーツ オーガニゼーション

*2 メカニックのサポートが受けられないステージのキャンプ地では、ドライバー・ナビゲーターが車載の部品と工具のみで自ら車両の整備を実施

(ダカールラリー-2015 ルート図)



【過去の成績】

開催年	1995-2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
使用車両	ランドクルーザー-80 (1995-1998) ランドクルーザー-100 (1999-2004)	ランドクルーザー-100				ランドクルーザー-200					
成績	市販車ディゼルクラス 優勝7回	優勝 *2	優勝 *2	優勝 *2	大会 中止	優勝 *2	優勝 *2	優勝 *2	2位	2位	優勝
備考	アラコとして参戦 *1	2005大会よりトヨタ車体として参戦									

*1 2004年10月にアラコ(株)車両部門がトヨタ車体と事業統合

*2 ガソリンクラスを含む市販車部門で6連覇達成

【バイオディーゼル燃料 (BDF)】

(1)使用するBDFについて

BDFとは植物性油を原料に作られた軽油の代替燃料であり、TLCは2007年大会からBDFでの参戦に挑戦し、2009年大会からは廃食油を精製したBDFでの参戦に取り組んでいます。原料の廃食油はTLCのラリー参戦活動に賛同いただいた方々から提供を受けており、2015年大会では太田油脂(株)の協力により精製されたBDFを使用します。

(2) BDF の環境性能

TLCはダカールラリーのスタートからゴールまでの全行程においてBDF100%を使用します。これにより、総走行距離を軽油で走る場合と比べてCO2排出量を約60%低減することが可能となります。

(3) TLC の BDF での参戦経緯

開催年	2007(*1)	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
参戦車両	ランドクルーザー100		ランドクルーザー200						
BDF使用台数 (使用台数/出舞台数)	1/3台	大会 中止	1/2台	2/2台	2/2台	2/2台	2/2台	2/2台	2/2台
BDF混合比率	20%	-	20%	20%	100%(*2)	100%	100%	100%	100%

*1 2007年大会は市販のBDFを使用

*2 2011年大会は一部区間のみ軽油で走行